

## 令和4年度第1回小平市社会教育委員の会議要録

と き：令和4年4月21日（木）午前9時30分から午前11時20分

ところ：市役所6階 大会議室

### 1 出席者

小平市社会教育委員 9名（1名欠席）  
傍聴者 なし

○委嘱状交付式

○委嘱状交付後、議長に井戸委員、副議長に生尾委員を選出。

### 2 内容

#### <議題>

資料に基づき、事務局から説明を行った。

- (1) 令和4年度小平市社会教育委員の会議等の開催日程について
- (2) 令和4年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会定期総会について
- (3) 令和4年度小平市社会教育関係団体に対する補助金交付について

#### <事務局報告>

各課・各館より、実施事業等について報告した。

##### 【教育部】

- (1) 令和4年度各課・館事業概要等（地域学習支援課、公民館、図書館）について

##### 【地域学習支援課】

- (1) 令和3年度青少年リーダー養成講座について（報告）
- (2) 令和4年度青少年リーダー養成講座について

##### 【公民館】

- (1) 公民館主催イベント（3月）について（報告）
- (2) 公民館主催イベント（5月）について

##### 【図書館】

- (1) 令和4年度こだいら子ども読書月間について
- (1) 小平市立図書館の臨時休館について

### 3 議題及び事務局報告についての意見・質疑応答

#### <議題>

○ 令和4年度小平市社会教育関係団体に対する補助金交付について

委員 補助金の対象団体について社会教育法第10条・第13条に規定されているが、例えば団体の会員数、実績、市内在住などの条件に基づいて団体申請されているのか。

事務局 会員数等について基準等は設けていない。補助開始当初は市として地域の

団体を育成するということで補助が始まったと考えている。全体的な市の考え方としては、団体に関する運営補助というよりは、事業費の補助を行っている。

なお、会員数等年々減少しているところがあるが、できるだけ市教育委員会としては各団体を支援していきたいと考えている。

委員 令和3年度の青少対の実施予定事業一覧の補足説明をさせていただく。七小地区委員会は空欄になっている。令和3年度は、事業を行うことの子どもへのメリット、また感染拡大することへのデメリット、これらを考えて検討する1年間ということで進めてきた。令和4年度は可能な範囲で事業をしていく予定であり、再び補助金の申請を予定している。

委員 引き続き青少対十小地区の補足をさせてもらう。学校で遊ぼうと書いてあるが、その中の私は科学実験教室の担当。人数を制限して、事業費もだんだん減ってきている。そういう中でも途切れないように頑張っていくという姿がここに現れていると思う。

その一方、小平郷土研究会、本当に郷土のためのいろいろな資料の編さんなどされているが、今回は出版していないから皆減になっている。限られた予算の中で、各種の社会教育団体、それは地域に根差した活動をしているものだから、本当に選ばれて予算が配分されている。だから、なるべくコロナ禍であっても、例えば先ほどお話があったようにZ o o mで開催している、人数を制限してやっているなど、活動をそれぞれ継続していただくようにしていきたい。

事務局 担当課としては継続して支援をしていく考えで、協力しながら進めていきたいと思っている。

委員 青少対の三小はコロナ以前も他校に比べると2倍、3倍で事業費がある。どういう活動をしているのか。

事務局 先の3月の市議会でも青少対三小地区委員会が行っていた桜祭りを復活できないかという一般質問があったが、これまでは青少対が主となって桜祭りという盛大な事業をやっていた。令和2年度は、三小が今力を入れている、かるたを独自につくられたようである。

### <事務局報告>

#### ○ 公民館について

委員 私ども大学ではもう学生証がないと入れないという厳しい管理をしている。公民館はそうはいかない。今までどうやっているんだろうと思っていた。

事務局 基本的にはお部屋を利用するサークルは必ず受付に来ていただくので、その際にガイドラインなどを踏まえた公民館の使い方というものをお示するとともに、チェックリストで体調の悪い人はいない、消毒もしますなど、お約束をいただいて、ご協力をお願いしている。

#### ○ 図書館について

委員 以前、なかまちテラスティーンズ委員会で中高生が選んだ本の作者とウェ

ブでお話したと伺っている。遠隔地にいる方とお話しできるのはすごく魅力で、またそういった企画があるのか。

事務局 今後、様々な事業を行っていく中で、特に子ども向けの事業、あるいは講演会などでZ o o mの活用ができるものは取り入れていきたいと考えている。

委 員 図書館ホームページの検索エンジンについて、なかなかヒットしない。どのタイミングで見直しされるのか。

大きく変えるようなタイミングがあったら、市民のいろいろな細かいニーズや意見を吸い上げて、より使い勝手のいいものにしていただけるとありがたい。

事務局 図書館独自のホームページのシステムは約5－6年で更新をして利便性を高めることに取り組んでいる。来年から再来年にかけて更新を行っていく予定である。そのときに今いただいているいろいろなご意見を反映させてより使いやすいシステムにしていきたいと考えている。